



深志神社の新年初詣の様子

平成31年の新年が穏やかに明けました。今年も亥年です。猪とも呼ばれ十二支の最後の干支です。また、年号「平成」最後の年となり、テレビ、新聞等では平成の30年間に起きた様々な出来事が映像や写真で報道され、その映像を見ていると当時の良いこと、悪いことが思い起こされます。なかでも災害の映像は自然現象の凄さを見せつけられます。年末恒例の京都清水寺の「今年の漢字一字」では災害、災害の「災」と発表されました。



**さとやまべ**

2019年1月1日現在

世帯数	5,305 戸
人口	5,857 人
男子	6,153 人
女子	12,010 人

昨年とは地震や台風大雨と自然災害が多く発生した一年になりました。平成の一文字を選ばなかつたの一つとしても「災」が選ばれると思います。公民館では「助けて」を言える地域づくり勉強会が開かれています。高齢者が増え、介護需要が高まる中で、必要な時に助けが出来る、見守りの関係づくりを地域で考える勉強会です。いざと言うときに備えて日頃から出来ることを家族や近所の方と話し合っ、いつ起きるか分からない災害に備えておきましょう。新しい年号は4月1日に発表されます。巷では頭文字が「M」「T」「S」「H」以外であるとか、もう決まっているなど報道されています。新しい時代が始まります。平和で穏やかな年であることを願っています。

館報編集委員長  
小岩井 登嗣治

**わが町紹介②**

● 荒町町会 ●

しめ縄づくりと餅つき大会

荒町町会では新年を迎えるにあたり、年末の恒例行事としてしめ縄づくりを実施しています。併せて昨年より餅つき会を開催しております。しめ縄づくりは親子が参加し世代間交流として高齢者から作り方の指導を受けました。おもに「ごぼうじめ」を約1時間にわたって悪戦苦闘し、何とか完成にこぎつけて

いました。

その後餅つき会を開催しました。この会に参加した子供たちはほとんどが初めての体験で、杵を振り上げ力一杯つきました。つきあがりの餅はお母さん方の協力によりきな粉、あんこ、大根おろしをまぶしていただきました。盛会のうちに終了となり新しい年を迎える準備ができました。なお、新年には改修したお船のお披露目をする予定です。町会が益々発展することを皆で願っています。



人権啓発講演を聞いて

鈴岡潤一先生の「幣原喜重郎の国際主義」という講演をお聞きしました。

幣原喜重郎は、戦前は外務大臣を昭和6年まで4回にわたり務め、国際協調路線の外交を推進した人物です。満州事変後政界を退いていましたが、戦後昭和21年10月から内閣総理大臣として日本国憲法の制定に深く関わったと言われています。

日本国憲法は、大きく「国



鈴岡先生の話に真剣に聞き入る参加者の皆さん

民主権」「基本的人権の尊重」「平和主義」という3つの原則で成り立っています。鈴岡先生は、「本当の意味での人間の開花とは、当然戦争のない世界である。今こそ平和だ。

「：」という幣原の歴史哲学を紹介しながら、その平和への願いが憲法に大きな影響を与えたことを歴史資料を基に説明されました。今の私たちの社会の基本を形成する大切な存在である日本国憲法と、その成り立ちを見つめ直すために、とても意義深い講演でした。(収録したDVDを保管しております。活用を希望される方は、里山辺公民館 32-11077へお問合わせください。)

湯の原公民館長 金井 貞徳

# 次世代を担う若者に期待!

平成30年度里山辺地区で成人になられた方は、男性45人、女性62人の合計107人です。おめでとうございます。

## 社会人一年目として



小松 怜也 (荒町)

## 社会人として



瀧本 くるみ (北小松)

私は二十歳という節目の年を迎え今年から公務員として働くことになりました。

私は今年から動物看護師として動物病院に勤めることになりました。

私が無事公務員試験を合格出来たのは、家族や友人など周りの支えがあったからこそです。特に両親には一番近い所で支えてもらいました。努力をしても結果が伴わず何度も心が折れそうになりましたが、いつでも温かい言葉を掛けて続けてくれました。二十年間育て支えてくれた両親に恩返しをしていきたいです。

小さい頃から動物が好きで、将来は動物に関わる職業に就きたいと思っていたので、小さい頃からの夢を叶えることができた年となり嬉しく、幸せに思います。これからは、社会の一員であるという自覚を持ち、一人でも多くの飼い主様、動物達に寄り添うことのできる動物看護師を目指し日々精進していきたいと考えています。また、今まで大切に育ててくれた両親に恩返しができる素敵な大人になります。



平成30年11月14日(水)に「助けて」を言える地域づくり勉強会を開催しました。今年度から「災害時の助け合い」をテーマに学習を深めています。

現在地区内には65歳以上の単身高齢者が人口の3%を占めるほか、災害時に近くの避難所へ避難するにも周囲の手助けが無くては身動きの出来ない方もいます。とくにアパートでの一人暮らしの方で町会に加入しないなど、誰がそこで助けを求めているのかを把握できずに助け合いが難しくなっています。

勉強会では市で推めている「災害時等要援護者登録制度」の仕組みを学び、災害時に自分や家族の力で避難することが難しい、または不安がある方を町会等で把握し、具体的な支援に

つなげるためにこの制度をどのように活用するのか検討しました。グループワークの中では「登録制度の大切さに気付いた」という一方で「周囲で不安を感じていても登録に至っていない人も多い。一人ぼっちでいたり、息子が同居していてもほとんど居ない等、隣組で状況を把握し合っていないのが大事」という意見もありました。また「防災訓練の参加者はみな元気な人たちで本当に援護が必要な方が参加していないため、災害時等要援護者への実際の支援を盛り込んだ防災訓練を検討するべき」との意見もありました。

## 入山辺里山辺財産区議会議員及び同管理運営委員会委員決まる (敬称略)

- 入山辺里山辺財産区議会議員
  - 布野兼一 (西荒町)・中澤忠一 (薄町)・布野竹二 (荒町)・武田秀月 (林)・山田邦夫 (湯の原)・百瀬文彦 (北小松)・上地昭一 (下金井)・百瀬博道 (薄町)
- 同管理運営委員会委員
  - 一 (新井)・花岡茂雄 (藤井)・金井守 (上金井)・三田村力 (兎川寺)・中村八郎 (西小松)・出井東亜雄 (北小松)・西村博道 (薄町)

## 里トピックス

- ◆第62回里山辺地区卓球大会・ゲートボール大会 (11月18日(日))
  - 卓球大会
    - 優勝 南北小松
    - 準優勝 荒町
  - ゲートボール大会
    - 優勝 下金井 A
    - 準優勝 小松町
    - 第3位 林 B
    - 第4位 上金井

## ◆わいわいもちつき大会

12月8日(土)、年末恒例のわいわいカレー事業でつくったもち米を使ったもちつきを公民館玄関先で行いました。



## ◆冬のガーデニング講習会

11月16日(金)、新年に向けて家庭が華やく寄せ植えをつくりました。

